



2024年4月30日

各 位

上場会社名 高松機械工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 高松 宗一郎
(コード番号 6155 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役管理本部長 四十万 尚
(TEL 076-274-1410)

業績予想と実績値との差異及び業務遂行の過程で生じた損害に関するお知らせ

2023年7月31日に公表した業績予想と本日公表した実績値に差異が生じたのでお知らせするとともに、業務遂行の過程で生じた損害が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,365	△313	△310	△290	△26.84
実績(B)	14,184	△386	△608	△565	△52.26
増減額(B-A)	△1,180	△72	△298	△275	
増減率(%)	△7.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	16,675	516	619	489	45.21

2. 差異の理由及び損害の概要

2023年3月期における当社グループを取り巻く環境は、主要顧客である自動車業界向けにおいて工作機械需要の調整局面が継続したことなどにより、厳しい受注状況にありました。

このような環境の中、自動車業界以外の新規開拓も積極的にはかるとともに、工作機械事業本部のもと、生販一体となって生産対応に取り組み、売上確保に努めてきましたが、当初想定よりも工作機械受注が回復しなかった影響が大きく、売上高が業績予想を下回りました。

利益におきましても、継続的な原価低減活動や生産性向上の取り組みの成果、価格改定の効果が表れているものの、売上高減少が影響したほか、中国市場の景気低迷から工作機械需要が大きく落ち込んだ結果、中国合弁会社の杭州友嘉高松機械有限公司に係る棚卸資産評価損198百万円を計上したことなどによって持分法による投資損失(営業外費用)327百万円を計上したこと、自動車部品加工事業の業績低迷に伴う減損損失(特別損失)69百万円を計上したことにより、業績予想を下回りました。

以 上